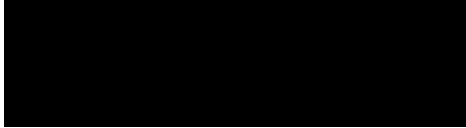



陳 情 一 覧 表

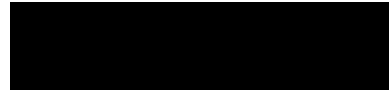
平成30年12月盛岡市議会定例会(平成30年12月17日)

受理 番号	受理年月日	陳 情 の 要 旨	提 出 者
8	H30.12.5	地元の木材を使ったアスレチック建設についての陳情	 SG探求1-M3班 

平成 30 年 12 月 4 日

盛岡市議会議長 天沼 久純様

代表住所



SG 探究 1-M3 班

代表



地元の木材を使ったアスレチック建設についての陳情

要旨 岩手県県産木材利用促進条例の制定に合わせ、子どもが遊ぶ施設を充実させることと木材への興味を持たせることという2つの目的を備えたアスレチックを建設するよう要望する。

理由 私達の在籍する岩手県立盛岡第一高等学校は、文部科学省から「スーパーグローバルハイスクール」に指定されており、社会の課題についてその解決を目指し探究活動を行っている。その中で、私達の班は子育て支援について、子どもの遊び場に注目して活動している。

昨年は盛岡市子ども未来部や京都市の育成推進課へフィールドワークを行い、今年秋は秋田県立中央公園フィールドアスレチックを実際に見学するなどの調査活動を行っている。

その後、研究の一環として盛岡市立上田小学校と紫波町立日詰小学校の2校の全校児童とその保護者にアンケートを取らせて頂いた。その結果、保護者の方からの現在の子ども遊び場に対する不満が多いことと、児童の約90%がアスレチックで遊びたいと思っていることが確認された。そのため、私達では、子育てする上で魅力的な街づくりを進めるためにアスレチックの建設を要望する。

また、子育て支援は各自治体で大きな差がなく、独自の色がなかなか出せないのが実情だ。また、今年度岩手県では岩手県県産木材利用促進条例が制定される見込みである。そこで、私たちは県産木材を有効に活用し、自然豊かな環境の中で子育てをするということを推し進めていきたい。岩手県、盛岡市独自の子育て支援策を作るために議員の皆さま方にご検討をお願いします。

